

ls コマンド

- **読み方**：エルエス
- **意味**：list の略
- **用途**：ディレクトリ内のファイルやディレクトリの一覧を表示するためのコマンド

利用環境

LinuxやmacOSのターミナル、WSL、Git Bashなど

基本操作

1. 現在のディレクトリの内容を表示

```
ls
```

- 実行結果の例

```
file1.txt file2.txt ディレクトリa
```

2. 特定のディレクトリの内容を表示

```
ls ディレクトリ名
```

- 実行結果の例

```
subfile1.txt subfile2.txt
```

よく使うオプション

1. `-l` (**long format**) : 詳細情報付きで表示

- パーミッション（アクセス権）、所有者、ファイルサイズ、更新日時などを確認可能

```
ls -l
```

- 実行結果の例

```
-rw-r--r-- 1 user user 120 9月 8 12:00 file1.txt drwxr-xr-x 2 user user 4096 9月 8 12:01  
ディレクトリa
```

2. `-a` (**all**) : 隠しファイルも表示

- `.` から始まるファイル（例：`.bashrc`）も表示される

```
ls -a
```

- 実行結果の例

```
... .bashrc file1.txt ディレクトリ a
```

3. **-R (recursive)** : 再帰的に表示

- 指定したディレクトリの中身を階層ごとにすべて表示

```
ls -R ディレクトリ a
```

- 実行結果の例

```
ディレクトリ a: subfile1.txt subfile2.txt  
ディレクトリ a/subdir: subsubfile1.txt
```

4. **-lh (human-readable)** : サイズを人間が読みやすい形式で表示 (KB, MBなど)

- **-l** と組み合わせて使うのが一般的

```
ls -lh
```

- 実行結果の例

```
-rw-r--r-- 1 user user 1.2K 9月 8 12:00 file1.txt drwxr-xr-x 2 user user 4.0K 9月 8 12:01  
ディレクトリ a
```

その他オプション

1. **-t** : 更新日時順に並べる

```
ls -lt
```

2. **-s** : ファイルサイズ順に並べる

```
ls -ls
```

3. **--help** : lsコマンドのヘルプを表示

- どのオプションが使えるか確認できる

```
ls --help
```

以上